

【SDGs】板グローブの制作で連携

端材再生 板グローブに



試作品の板グローブをもとに話し合う仲田社長（右）ら
＝浜松市北区

子どもの技術向上願う

浜松市北区の仲田建築(仲田伸吾社長、同市浜北区の井口スポーツ(戸田陽己店長)・磐田市の鍼灸(しんきゆう)師飯田康祐さんが、野球の練習用の板グローブ制作に乗り出した。建築現場で生じ、焼却処分していた合板の端材を再利用。「地域の子どもの技術向上につながれば」と願う。

板グローブは、板で作る身に付けることができる平面のグローブ。面になる。端材の有効活用を模索していた仲田建築、野口、基本的な捕球技術を、球人口の減少に危機感を

抱く井口スポーツ、浜松市内の高校野球部でトレーナー経験がある飯田さんの3者を同市中区のエネジンが見つないだ。

18日には、仲田建築で試作品をもとに改良点を話し合い、板を牛革で覆うことなどを決めた。板グローブはイベントなどで地元の少年野球チームに使用してもらうほか、商品化も視野に入れる。

仲田社長は「端材を捨てるのはもったいない。地域の子どもの役に立てばうれしい」、飯田さんは「家庭でも手軽に練習できる。うまくなる上で大切なスキルを子どものうちから身に付けてほしい」と期待する。

(細江支局・大石真聖)

仲田建築北、井口スポーツ北、鍼灸師飯田さん 磐田連携

静岡新聞に、板グローブ制作についての記事が掲載されました。端材の有効活用を考える仲田建築さんと、野球人口の減少に危機感を抱く井口スポーツさん、野球部でのトレーナー経験がある鍼灸師の飯田さんを結び付け、それぞれが抱える課題を持ち寄ることで、新たな事業の開拓につながりました。これは、SDGsの ④⑧⑨⑫⑮⑰ に該当する取り組みです。

これからも、地域の皆様や地元企業様のお役に立てるような取り組みを継続していきます。

令和4年(2022年)8月20日(日)

静岡新聞

